

行政評価シート(事後評価)

コード (71) 6-5-8	事務事業名 乳幼児経過観察相談事業	所管部課 子育て支援部子ども家庭支援センター(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	----------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	育児・栄養相談、心理相談等において、継続して支援の必要のある親子の不安を軽減し、安心して子育てができることを目的とする。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	栄養・母乳相談(ばくばく相談): 3~4か月児健診や育児相談等からのフォロー者のために、年24回予約制で実施。スタッフとして栄養士、助産師、保健師 費用無料 心理経過観察相談: 各乳幼児健康診査時に実施している心理相談で、継続して相談を受ける児のために、年間70回心理相談員により実施 費用無料	
事業開始時期	平成14 年度	実施形態
		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		627	582	583	600
財源					
国庫支出金・都支出金					
地方債	千円				
内訳					
その他 ( )					
一般財源	千円	627	582	583	600
所要人員(B)	人	0.22	0.22	0.22	0.22
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1832	1801	1795	1795
臨時職員等賃金(C')	千円	405	375	506	592
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	2,864	2,758	2,884	2,987
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ ( 総利用者数 )	千円	6.9	6.1	5.3	#DIV/0!

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
ばくばく相談開催回数	実績値 回	24	24	24	24
心理経過観察相談開催回数	実績値 回	76	70	70	58
(指標の説明・数値変化の理由 など) 毎月1回保谷・田無会場で実施 3~4か月児・1歳6か月児健診当日に実施しているため、各乳幼児健診の回数の減に伴い回数が減っているが相談員数の変化はない					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一次	ばくばく相談利用延人員	目標値		200	220
		実績値	153	156	219
二次	心理相談利用延人員	目標値		300	350
		実績値	260	294	323
不安の軽減	目標値				
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など) 実際に利用した延べ人数 実際に利用した延べ人数					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	アンケート未実施 相談した方からは、丁寧に相談によって、不安の解消になったという声があった。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 実施方法や回数等は市によって違うが、各市とも、同様の事業を実施
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

コード (71) 6-5-8	事務事業名 乳幼児経過観察相談事業	所管部課 子育て支援部子ども家庭支援センター(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	----------------------	--

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>ばくばく相談：健診や育児相談あるいは今後は地域支援センター等で受けた相談のうち、フォローが必要な相談については、今後とも保健センターが担っていくことが必要と考えている。</p> <p>心理経過観察相談：本事業以外に、心理相談として、3歳児健診の当日及び発達・経過観察検診時にも同様の事業を実施しており、それらを合計すると、平成18年度の心理経過観察相談者延べ数の実績は573人となり、年々相談件数が増加している実情がある。乳幼児を取り巻く養育者や家庭環境の問題が多く、虐待予防の観点から親子が必要な支援が得られるよう、関係機関との連携や、健診フォローグループと一体になった経過観察がますます重要になると考えている。平成19年度は日にちとしては減っているが、心理相談員の数は平成18年度と同様確保してはいる。今後さらに相談者が増加していくことも考えられるので、継続はしつつも、見直しを図る必要は感じている。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>保護者の精神的負担に配慮・軽減を図り、子育て環境を巡る社会問題化などに対応するため、事業の必要性はあるものと考ええる。</p> <p>ただし、母子相談の枠を超えて、女性相談の領域に入ってしまうケースもみられることから、基幹型保育園やひいらぎなどで実施する事業などの類似性も検証しつつ、相談業務のあり方について、再検討すべきと考える。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>育児や心理相談を通じて親子の不安を解消するため、関係機関との連携を強化し、適切な支援を行っていく必要がある。</p> <p>今後も乳幼児や保護者を取り巻く家庭環境の変化に対応した改善・見直しを図りながら、事業実施に努められたい。</p>